


看護学生が「楽しい!?!」という 統計学の授業を、本にまとめました。

看護学生のための統計入門

検索 

2017



永美 大志

「看護学生のための統計入門 2017」の特徴

看護学生が「楽しい!？」という統計学の授業を、本に纏めました。

ルート(√)付き電卓とグラフ用紙があれば、穴埋め式の問題を解いていくことにより、無理なく進むことができます。

2011年(平成23年)2月21日(月曜日) 看護 看護

前立腺がん「20歳で薄毛」2倍

私の研究チーム調査
男性ホルモン影響か

フランスの病院で前立腺がんの発症経験がある男性388人と、発症したことのない281人に対し、体質的な薄毛とされる男性型脱毛症の有無を尋ねた。その結果、20歳時点ですでに薄毛だった人の割合は、前立腺がんの経験がない人が多かったのに、経験者は約倍近い9.5%に達した。30、40歳の薄毛で大きな違いはみられなかった。

前立腺がんを発症した男性が、20歳の頃に薄毛だった割合は、前立腺がんを発症しなかった男性の約2倍あることがフランスの研究チームの調査でわかった。チームは、男性ホルモンが作用した可能性を指摘している。欧州臨床腫瘍学会議に発表した。

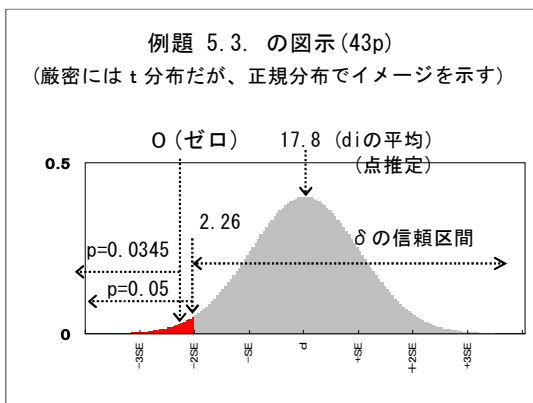
<問題 3.3.2> 2011年フランスから興味深い報告が行なわれた。前立腺癌に罹患した388人と、罹患していない281人に、20才時薄毛であったかどうか聞いてみると、罹患した人の中では、37人であったのに対し、罹患しなかった人の中では、14人であったという。下表を完成し、オッズ比を計算せよ。

	前立腺癌 罹患	罹患せず	計
20才時薄毛	37	14	
20才時普通			
計	388	281	

OR の算出
 $OR = ad/bc = \frac{\quad \times \quad}{\quad \times \quad} = \quad$

コメント : _____

統計的な判定のイメージを全ての課題で図示しました。



[両側検定]

t-value	自由度	危険率	Cohen's d	効果量r
-2.308662	5	$p=0.0690$	1.181618	0.718310

判定: 有意水準5%有意差なし

有意水準5%の場合の検出力: $power < 0.8$
 $power > 0.8$ とするのに必要な標本数はX、Yそれぞれ12以上です。

[片側検定]

t-value	自由度	危険率
-2.308662	5	$p=0.0345$

判定: 有意水準5%有意差あり ← 43p

有意水準5%の場合の検出力: $power < 0.8$
 $power > 0.8$ とするのに必要な標本数はX、Yそれぞれ10以上です。

パソコン実習では、佐藤真人先生のJ-STATを使用
 させていただきました。